

# 幼い難民に未来を



発行：幼い難民を考える会 〒160 東京都新宿区南元町6-2 TEL. 03-3353-9947 FAX. 03-3353-9739



母国語の勉強をするベトナムの子どもたち。

今日本には、難民として来たインドシナの人たちが約6300人住んでいます。このうち16歳以下の子どもは約1600人。今回は、この子どもたちの生の声を中心に、毎日の生活ぶりを特集しました。

## 「日本」という異国で 生きる子どもたち

### ラオス人として誇りをもつ

ドアンチャン・ブンニャサイシー

(5歳から在日10年・中学2年・15歳)

小さい頃、私は、ラオス人ということ、とても恥ずかしく思っていました。自分の名前が大きらいでした。幼稚園の卒園

式には名前を呼ばれても返事をせず、卒園証書を受取りに行きませんでした。

小学校に入学してからは、さ

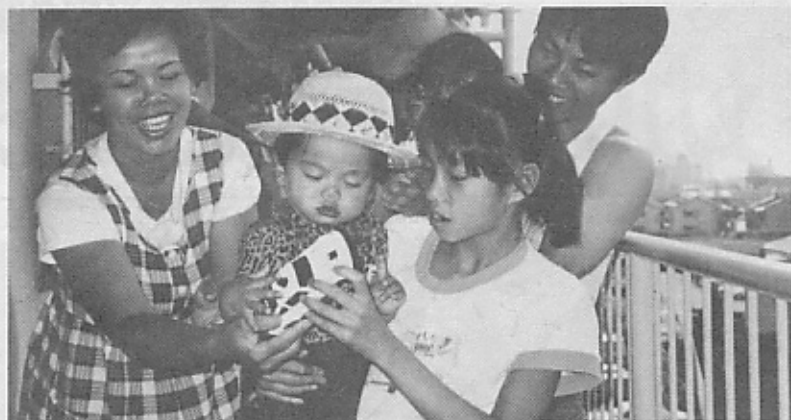
らに名前のことで悩みました。みんなはひらがなののに、私だけカタカナだったので恥ずかしいと思っていました。それに、私の名前は、みんなより長かったので呼びにくかったのです。

『ドアンチャン・ブンニャサイシー』という名前は、自己紹介するときいやでした。私はこの

名前を恨みました。

「どうして私だけ、みんなと名前が違うの？ 私は何だろう」と思ったこともありました。クラスの男の子には、私の名前をバカにしたり、からかった子がいました。その時私は、とても悔しかったのです。

学校からの知らせや手紙は、父も母も読めなかったので、いろいろ苦労しました。家の近所にはラオス人ばかりが集まって暮らしていたので、日本語を読める人があまりいなかったし、学校の行事をよく知らなかったこともありました。でも、ある日本人のおばあちゃんが、私の家に時々来られて、お母さんに日本語を教えてくれたり、学校からの手紙を説明してくれました。だれも、説明してくれる人がいなかったある時、雨で遠足



が中止になることもわからず、勉強道具を持っていかなくて学校へ行ったこともありました。父も母も、日本語があまりわからないのに、大変だったなと思いました。

私がまだ2、3年の頃は、家の中ではラオス語を話していました。学校では日本語を話していましたが、上手に友だちと話せないことがあって、トラブルが起きたこともあります。つい私はラオス語でロゲンカをして、

結局は負けてしまい、悔しくて、「ラオスへ帰りたい！」と泣きわめいたこともありました。よく知らない母国へただ帰りたいと思うばかりで、帰れないことは、何となくわかっていました。

私は、日本人が大きらいでした。私をバカにしたりするのでこの国の人はいやだと思っていました。時々いじめられて帰っては、お父さんに「日本人がいじめた」と泣いて、明日から学校に行かないとわがままを言うともあるそうです。結構明るい子どもですから、学校生活は楽しく過ごしているようです。ただ、国語で漢字についてみると筆順に問題があります。結果的にはできるのですが、授業中の先生の話を落ち着いて聞く習慣に欠けているからかもしれません。

私は毎週水曜日、午後4時半から6時半ころまで伺っているのですが、彼女も子ども、1時間ほどはがんばるのですが、昼

### 訪問ボランティアの報告より…… 1

☆8歳(小学2年)のAさん  
(日本生まれ 在日8年)

私は、お手伝いしてからまだ3年足らずです。その人たちはカンボジアから来られた3人家族です。初めは両親の日本語の勉強をしていましたが、娘のAさんが小学校に入ったことから現在は、実質家庭教師のようになっております。

Aさんは、現在小学2年生です。国語と算数が好きだが、図工はやや苦手。1年生の初めの頃は、名前の違いなどから単純ないじめがあったようですが、そこは子ども、すぐに仲良しになり、友だちも増え、時には得意な算数などを教えてあげるこ

たり、休んだこともありました。

5年生の頃、私がラオス人だから、新聞やテレビに載った時、ある子に、「スターでも何でもないので、テレビなんかに出てバカじゃないの」と言われました。私は何のことかよくわからず、「どうしてそんなこと言うの?」と聞くと、「あんたは、日本に住まわせてもらっているんだから、あんまり目立つな」と言われ、ものすごく悔しかったです。私は、この国の人じゃないから、この国ではおとなしくして、日本人の言うことを聞けばいいのだなと思いました。言葉がうまく話せなかったり、外国人というだけで、弱くなるものだなと思いました。

6年生の時、お父さんから、「日本人になりたいと思う?」と聞かれ、何のことかと思いきや、間の遊びの疲れが出て、あくびの数が増えます。そんな時は、学習の方法を変えたりします。彼女はがんばり屋さんなので、私も訪問することを結構楽しんでおります。

日常、両親はカンボジア語で話していますから、彼女も少しくらいの言葉は理解できるそうです。しかし、親子での会話は日本語が主となっています。母親の話では、カンボジア語の学習は中学生になってから体系的

した。「日本の国籍がとれるかも知れない」と言われ、私は大喜びしました。もう名前のことでいやな思いをしなくていいのだと思いました。

その時は喜んでいましたが、今さらですけど、少し後悔しています。私は自分のことしか考えず、親がどんな思いで母国の名前を捨てたのか、どんなに辛かったのかを、考えませんでした。日本の国籍をとるということは、ラオスの名誉を捨てることになることが、今やっと、わかり始めました。私はただ、名前だけでも日本名になれば、それで十分と思っていました。私さえ少しのことでもガマンしていれば、父も母も、ラオス人として、堂々と誇りをもっていられたのになと思います。国籍が日本で、ラオス人だと、何か複に学習させたい、中学生になれば、日常の日本語が習得できること、学習意欲もしっかりするであろうから、と考え方が実にしっかりしております。

最後に、一家の人たちが最近



雑な思いがします。少し寂しい気もします。小学校の頃、あんなにラオス人であることが恥ずかしくて、いやだと思っていましたが、今はラオス人であることを誇りに思っています。ラオスは小さな国ですが、これから発達していく可能性があると思います。私は母国の文化や習慣を愛したいと思っています。それに、日本の国籍でも、私自身は今までと同じなのだからと思うようになりました。日本名になっても、苦しい思いは、そんなには、日本滞在中でいやな思いにさせられたことは、あまりないとのことであるとの話を申し添えます。

(報告者/窪田晋治 訪問先/神奈川県 平塚市)



※CYRでは、訪問活動をしている人を訪問ボランティアと呼んでいます。

なに変わりませんでした。

私は、公立の中学校でやっていけなくなったので、現在は私立のミッションスクールに通っています。そこで新しいことを発見しました。何もかもが新しいので、誰も私がラオス人とは知りませんでした。しかし、私はある先輩に、自分がラオス人だということを話しました。なぜ話したのか、よくわかりません。多分、心の中で、「私は日本人じゃないのよ。本当はラオス人なのよ」と思ったから、つい話してしまったのかも知れません。

やっぱり、私の体にながれているのはラオス人の血で、先祖の血をひいているのだから、胸を張って堂々と生きていくようにとたくさんの人たちに言われたので、私もそう思うようになりました。

これからは、国際交流の時代なので、たくさんの国が交流してほしいと思います。その中で、ラオスのことを日本の人にも教えたいですし、日本のこともラオスの人に教えたいので、小さなことで悩んでいないで、堂々とラオス人として誇りをもちたいと思います。



4

## 訪問ボランティアの報告より……②

☆12歳 (小学5年) のBさん  
(小学3年から在日2年)

私がFさんのお宅にうかがいだしてから半年。家族6人が、しっかり結びついて、一生懸命生きている姿にはたくさんのものを学ばされます。経済的には決して楽とはいえないなかでも子どもたちは笑顔絶やせず生き生きとしています。

3人の姉妹(小5、小4、小1)は仲良く、日本語も下の2人の子どもは上達が早く、簡単な会話なら難なく話し合うことができます。長女のBさんは友だちというよりも、1人のほう

が好きということもあって、下の2人に比べると少し日本語は不自由なようです。5年生ともなると学校の勉強もむずかしくなり、国語では漢字の量の多さ、読み方がいろいろあること、物語文などでは方言が出てきて、なお戸惑うことなど、文は読めても内容はほとんどわかっていないのが現状だと思います。算数も、四捨五入、切上げ、切捨てなど言葉を理解するのがむずかしいようです。計算に関しては正確でスピードもありますが、

文章題では、内容をつかめないようです。

それでも学校は楽しく通っているようです。学芸会にもセリフを言う箇所では一生懸命練習していました。学習に関しては学年が上がるにつれ内容がむずかしくなり、ついていけないのではないかと不安です。現実に5年生くらいになるとハンディが大きすぎると思います。学校側からのフォローがあまり見受けられず、もっときめの細かい対応があってもいいのになぁと思います。授業中に“お客様”でなければいいかと思います。

(報告者/池田昭子〈グループ大樹〉訪問先/東京都八王子市)

## 子どもたちへのインタビュー

## 学校の生活 おもしろい？

★7歳（小学1年）のSさん  
（日本生まれ 3歳から保育園）

「お友だちはたくさんいるし、学校は楽しい。休み時間は校庭へ出て、鉄棒なんかで遊ぶの。好きな科目は、国語、算数、理科、社会、全部好き。クラスには、お友だちがいなくて、一人でいる子もいるから、時々『遊ぼう』って言ってあげるの。

『外国人！』って意地悪を言う男の子もいる。でも、味方をしてくれるお友だちがいるから、負けずに言い返してやるの。」  
（聞き手／山崎尚枝）

★8歳（小学2年）のCさん  
（1歳で来日、3歳から保育園、在日7年）

「とくに仲がよいお友だちは3人くらい。おトイレも一緒に行くの。家へ帰ってからもよく電話でお話する。

今、学校で探検ごっこがはやっていて、昼休みにはいつも10人ぐらいで遊んでいるの。（探

検ごっこは一種の宝さがしのような遊び）

学校にはカンボジアの子もいるけど、クラスが違うから、あんまり話したり、遊んだりしない。担任の先生（30歳くらいの女性）に勉強でわからないことを聞くと、『自分で考えなさい』と言われちゃう。私じゃなくて、ほかの子が聞いても同じ。

給食？ 大好き。メンチ、ハンバーグ、カレー、おでん、栗ご飯、きなこパン、からあげパン、キャベツの千切りなんか好き。おかずだけ食べて、パンは持って帰ることが多いけど……。

男の子に『外人は来るな』って言われたり、カバンを後ろから引っ張ったり、意地悪されることもある。でもお友だちがいるから学校は楽しい。」

（聞き手／山崎尚枝）

★15歳（中学2年）のDさん  
（5歳から在日9年）

「ほんとのこと言っちゃうと、学校の成績悪いんだ。とくに英語と数学がきらい。数学は、小学校で習った計算がわからないから、中学になったらもっとわからない。英語は初め好きだったけど、途中でわからなくなってきたら嫌いになった。学校は楽しくないからいっぱい休んでいる。友だちはたくさんいるけど……。この前、担任の先生じゃないけど、学校の先生が、『この学年で高校にいけないやつは50人ぐ



らしい。誰のこと言ってるのかわかるだろうけど、覚悟しとけよ』って言った。すぐ私のことだなってわかった。

先生ってみんな好きじゃない。小学校の時はそうでもなかったけど、5、6年の頃くらいから何だか信頼できなくなっちゃって……。勉強のことも先生に相談なんかしてない。ほかの人も相談してないと思う。親に相談してもしょうがないでしょ。誰にも言わないで、自分の好きな学校へ行くだけ。あとは先生にその学校に行けるかどうか聞いて……。普通科の高校へ行きたいけど、無理して教わって中断するより、専門学校行ったほう



がいいかな……迷ってる。ほかの人たちって、親が子どもの高校を心配してるらしいんだけど、うちの親なんか全然心配してない。そのほうがいいんだろうけど……。

(聞き手/峯村里香)

★15歳(中学1年)のGさん  
(小学校5年から在日2年)

「小学校はつまらなかったけど、中学になってからはとても楽しい。先生も友だちもとても親切。テストの前には先生のほうからわからないところはないか聞いて

### 訪問ボランティアの報告より……③

☆17歳(中学2年)のTさん  
(小学6年から在日5年)

Tさんはとても明るい中学2年生です。と言っても年齢は17歳で、想像もできないような苦しい体験をしてきたせいか、私(報告者は中学教師)が学校で教えている中学生よりもずっとしっかりし、自分の考えもちゃんと持っています。また、クラスにいる、いじめに合っている友だちのことを心配するなど、細やかで面倒見のよい面をもっています。そのためクラスの人

気者で友だちも多く、勉強している間にも友人から遊びの誘いの電話がかかってくる。

スピーチコンテストなどの学校行事にもたびたび参加するようです。今年、学校で「奉仕クラブ」なるものがつくられ、先生からTさんに、部長をやるようにと勧められたそうです。本人もそういう活動で、老人ホーム等に出かけるのを喜んでいますが。学習面では、むずかしい用

語がでてくる社会がいちばん苦手なようです。数学、英語は基本的なことはすべて理解しています。公立高校を受験できるということで、とても喜んでいますが。彼女の将来の夢は、大学まで進んで学校の先生になることだそうです。彼女の学校生活がとても充実しているため、そんな風に考えるのかも知れません。

両親とも教育の大切さをよくご存じのようで、子どもの勉強についてはたいへん熱心です。お父様は信念を持って家庭をしっかりまとめています。家族間ではベトナム語のみを使ってい

てくれるし、友だちも休み時間などに教えてくれる。友だちがたくさんいるから、昼休みがいちばん楽しい。バスケットボールをしたり、校庭でおしゃべりしたり……。

うちの中ではベトナム語で話している。でも弟（14歳）とケンカをするときは日本語になってしまう。お母さんはまだ日本語がよくわからないので、父兄会などには、おじさんが一緒に来てくれる。

夕食は、いつもベトナム料理。好きなものはたくさんある。日本の料理もすき。給食もおいしいし、友だちと話しながら食べられるから楽しい。

学校は大学まで行きたい。親もそう望んでいると思う。弟は大学で医者勉強をして、ベトナムに帰ってお金のない人をみてあげたいと言っている。」

（聞き手／中川真理）

★16歳（中学2年）のTさん  
（小学校3年から在日7年）

「学校の友だちは、少しいる。休み時間は、たいてい一人で自分の席に座っている。みんなまわりで遊んだり、話したりしてるけど……。成績はほんとに悪いんだ。ほとんど1。ときどき2があるだけ。高校行けないよね。でも本当は高校行ってもっ

と勉強したい。

将来は花屋さんやりたい。でも私たち、将来どこの国に行くかわからないでしょう。そして花屋さんじゃだめだよ。何か技術を身につけてないと役に立たない。だから高校に行ってもっと勉強して、技術も身につけないといけないと思うんだ。

今の先生は良い先生だから、いつも話に行ってる。『テストできなかったけど、どうしよう』とか、『私、高校へ行けるかなあ』とか。先生は、もしかしたら、推薦で行かれる高校があるかもしれないから、もっと勉強がんばりなさいって。」

（聞き手／峯村里香）

#### 訪問ボランティアの報告より……4

☆9歳（小学3年）のS君  
（日本生まれ、在日9年）

少し前までは、お父さんが、「カンボジアにいつか行こうね」と言うのと、「うん」と言っていたが、24時間テレビなどで、カンボジアの病気の子どもの姿などを見てから、「絶対いやだ！行かない」と言うようになった。

両親は、カンボジアが平和になっても子どもの教育のことを考えると、日本にずっといようと思っている。時々、子どもの言うことがわからないこともあ

るが、カンボジア語を教えるつもりはない。中学生になる頃までは、一つの言葉にしていなと中途半端な人間になるからとお父さんは言う。大学まで行かせたいと思うが、学校の勉強についていけなくなってきているので不安である。お母さんも、2年までは教えられても、今はむずかしいと言う。

（報告者／打越さく良 訪問先 埼玉県川越市）

まず、ベトナム人としての誇りを失うことなく、いつかは祖国へ帰ることを希望しているようです。Tさんはじめ4人の子どもたちは両親をととも尊敬し、従い、よくお手伝いをしています。日本人の中学生にはすでに失われてしまったものが、まだたくさん彼女の家庭には残っているようです。

（報告者／細谷早里 訪問先／神奈川県綾瀬市）



# 希望の家レポート



## ●図書室でビデオ大会

CYRの活動をより理解してもらうため、そしてカンボジア国内の今の様子を知らせるために、図書室でビデオ大会を行いました。

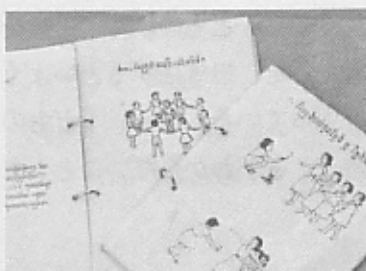
内容は、CYRのカオイダンキャンプでの活動紹介、自主帰還の記録（UNHCR制作）、「ジャングル・ブック」など4本。保育園の子どもの中には母親、父親といっしょにやって来る子もいて、ビデオを楽しんでいました。子どもにとってはインド映画の「ジャングル・ブック」が特に面白かったようで、トラ、ゾウ、ワニなど本物の動物が出てくるたびに歓声を上げ、嬉々として見ていました。

自主帰還のビデオでは、国内の様子をよく見ている人もいましたが、途中で席をたってしまう人もいて、複雑な心境を垣間見る思いでした。

## ●遊びのカード大活躍

昨年12月に刷り上がった遊びとゲームのカードを使って、保育者がよく子どもたちを遊ばせています。このカードはカンボジアの伝統的な遊びを中心に、ほかの保育園での遊びやゲームもとりいれつくってあり、リングでとじてあるので枚数はどんどん増やすことができます。カードの表には遊び方のわかる絵を、裏には遊びの名前、遊びを通して子どもが学ぶ点、人数、道具、遊び方が入っています。

おにごっこ、チャップ・コーン・クラエン（子とろに似た遊び）、レアック・コンサエング（ハンカチ落とし）など、子どもたちは日陰の少ないのもかまわず元気に遊んでいます。



## ●風の季節の子どもたち

10月中旬より乾期になり、赤土のカオイダンキャンプでは、毎日土ぼこりを舞上げた風が吹き始めます。風さえなければ日中は半袖でちょうどよいほどの暑さになり、朝晩は日本の秋の涼しさです。

この土ぼこりを含んだ風がくせ者で、顔や髪、手足の脂肪分をすっかりとってカサカサにしています。目ヤニや、まっ赤な目をショボショボさせるはやり目の人が増えます。この土にはトイレに行かないで道端で用をすます子どもの落とし物も含まれているのです。事後、土を掘り、ヘラや棒きりで土をかけたとしても、この乾燥と風で



はたまりません。

カンボジアの人たちには、頭には霊的なものが宿るからと、頭部を大事にする習慣があります。からだのほうは薄着でも、目の部分だけ出る毛糸の帽子で頭をおおっている人をこの時期たくさん見かけます。

風の季節には、キャンプの子



どもも大人も、工夫を凝らしてよく飛ぶビニール凧を作り、凧上げを競っています。

もっともよく見かける凧の作り方は、十字に組んだ竹ひごに

ビニールを張り、細長く切ったしっぽ（これもビニール）を4、5本まとめ、中央にバランスを考えてつけたものです。日本のように風に向かって走る姿はあ



まり見かけません。強い風を利用して、糸をクイクイ引きながら上げています。

さる11月20、21日の2日間、在タイスタッフの福原香と上田広美が、全国社会福祉協議会主催の「東南アジア社会福祉スタディーツアー」に部分参加。タイの子ども関係の施設6か所を見学しました。

以下は、その報告です。

#### 障害児のための財団

バンコク市内のほか2つの村で、主にリハビリテーションに焦点を置いて活動している財団です。

施設では3～9歳の子どもを受入れ、室内の遊びや教材を使った

学習のほか、プールやキャンプ、遠足などの活動も行なっています。また子どもの家族が、リハビリ器具やおもちゃを作れるように見本を持って、巡回する活動もあります。

#### 児童基金保育園

野原のなかに立っている屋外保育園。家のない子ども、スラムの子どもたちが通ってきます。教室は屋根と机、いすがあるだ

け。2歳から就学年齢くらいの子どもまでが、走り回り、活発に遊んでいました。見学した日の昼食は、御飯と青菜の入ったスープという質素なものでした。

#### 障害者福祉基金

保育園から中学校までが施設内にあるので、3歳から14歳くらいの子どもたち約200人が通

人の養成も行なっています。

#### ワットステイワラムスラム保育園

スラムの中にある、60人の子どもを収容している保育園。トタン張りの小さな建物で、天井から紙の貝、魚などを吊るし、部屋を明るくする工夫をしていました。



タイの子どもの施設を見学して

#### ホルト・サハタイ財団

何らかの理由で庇護を受けられない子どものために活動している財団。未婚の母の相談・カウンセリング、里親、養子縁組、保健衛生、栄養向上などのプログラムをもっています。

学、あるいはそこで生活しています。文部省のカリキュラムに従った一般教育のほか、リハビリテーション、福祉、職業訓練のコースもあります。職業訓練のコースでは、22歳まで受け入れられているそうです。

#### サタバシ・サン・サワン財団

2～18歳の心身障害児のリハビリと機能発達を目的とした養護学校。養護福祉にたずさわる

今回見学した施設は、子どもたちの楽しげな表情から、各団体のスタッフの苦勞と努力がよい成果となって表れているのを感じることができました。しかし同時に、整った設備をもつ障害者の施設は経済負担が大きく、特定の人たちにしか機能していないのではないかという疑問ももちました。(報告/福原香)

# 十年経ったキャンプ生活

一九七九年につくられたカオイタンキャンプは、第三国へ定住を希望するカンボジア難民の一時滞在施設であるため、生産活動や、経済活動は一切禁止されてきました。しかし、十年もの時が流れ、その原則もくずれ、今では一つの小さな村のようになっていきます。



## 商売様々

カオイタンキャンプには数年前から二つの市場があります。そこには、衣類、薬、野菜、果物、調味料、雑貨等々を売る店が並んでいます。ジュースや菓子、かき氷などを出す喫茶店もあります。こういった品物は、キャンプの畑で作られたり、外から闇で持ちこまれます。

一方、物ではなく、腕を売る職人たちがいます。市場には、洋裁屋、床屋、くつ屋、ラジオ修理屋、自転車修理屋などが並んでいます。自転車はキャンプの中ではとても貴重品ですが、実によく部品がとれたり、こわれたりするので、

キャンプ内の床屋は全部で六軒。四月のカンボジアのお正月や、九月の盆の前には行列ができるくらい客が来るそうです。定住のための移動の日や、結婚式、

盆の日に大活躍するのが写真屋です。カンボジアの人は記念写真の一枚一枚をとっても大事にするのです。結婚式には貸衣装も繁盛します。キャンプの外から持ちこまれた古着を縫い直し、飾りをつけた洋風の衣裳が多いようです。

このほかに、鈴の音を響かせて小さな手押し車で歩くアイスクリーム売り、英語やタイ語を教える塾や、短波放送を聞かせる家もあります。

## 畑づくりに汗を流す人々

一九七九年のキャンプ開設当時は十数万いた人たちも、第三国への移住が進み、現在は約一万人に減っています。このため、住宅はキャンプの中心部に移動し、外側の住居区は、この数年の間に畑に交

わってきています。とうもろこし、さつまいも、とうがん、ピーナッツ、キャッサバ、カリフラワー、長いんげんなど様々な種類の野菜が育てられています。



畑仕事をしているのは、キャンプに住んでいる家族の三割程度です。なかには一家総出で野菜作りをして、一か月に千バーツ（約五千円）ほどの収入を得ている家庭もあります。時折、近くのタイの村の人が、キャンプに大量に買い付けに來ることもあります。

大きな畑をつくっている人は、それぞれ自分たちの井戸を掘り、食用油のあき缶で作った大きなじょうろを天秤棒の両端にかけ、野菜に水をやっていきます。

いっような野菜を育てたらよいか、野菜を作っている人たちはよく知っています。額に汗を光らせ、畑づくりをしている人たちの顔は、堂々として自信に満ちているように見えます。

# かおひだん かわら版

## 一歩遠のいた本国帰還



今年（一九八九年）の五月で第三国定住のための調査は打切りとなりました。まだ定住の希望をもっていた人は多かったです。最後の調査国アメリカからの定住拒否通知を受け取り、気力を失ってしまう人もいました。

なかに、移民として第三国に行くとして、海外の親類、知人にせつせと手紙を書いている人もいます。

第三国へ行く望みがなくなれば、残された道は自分の国に帰るしかありません。今、キャンプにいる人たちのほとんどは、カンボジアで農業をしていました。そのため、国に帰ったら農業をしたいと考え

ている人が多いようです。

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）や、キャンプで活動している民間団体の人たちも、将来の本国帰還に備えて必要とされる生活収入向上のための技術訓練、教員、看護婦などいろいろな分野の指導者の養成、予防医学の知識と実践などの活動に焦点をあて、帰還準備の援助を考えています。

しかし、八月に行なわれたカンボジア問題解決のためのパリ会談では、合意が得られず、タイ・カンボジア国境やカンボジア国内での戦闘は激しくなっています。このため、一時帰還ムードが高まっていたキャンプも、現在は一歩後退の感があります。

## 日本の人形劇団に

### 拍手喝采

十一月半ば、日本の人形劇団「桃」がカオイダンキャンプにやって来ました。乾期初めのたいへん暑い日でしたが、ゲラウンド脇の舞台にはキャンプ中の子どもたちがたくさん集まりました。出し物



は、人形劇「桃太郎」パントマイム、歌など。どの子どもも食い入るように約一時間、舞台に見入っていました。劇は日本語で進められ、簡

単なカンボジア語訳がありました。桃太郎の話はよくわからなかった、という声も聞かれたものの、大人も、子どもたちを囲むようにして一生懸命見ていました。子どもたちは、おサル「アイアイ」の歌をすぐに覚え、今でも「アイアイ……」と歌っています。パントマイムの部では、手ぶくろ、くつ下を手にはめ、「さあ、これは一体なんでしょう？」という調子で、子どもたちはそれぞれに想像力を働かせ「へび！ ニワトリ！」と、舞台上に向かって叫んでいました。言葉の違いを越え、人形劇団の人たちの力いっぱい豊かな表現力と演技で、子どもも大人もたいへん楽しんだキャンプの一日でした。日頃、外からの刺激のないキャンプの生活なので、子どもたちの心にはとくに印象深かったことでしょう。

# 作ってみませんか？ カンボジア料理



12

昨年11月から始めた「カンボジアの料理会」、途中でお休みが入りましたが、今年の12月までに12品を講師のミム・ソワンさんから教わりました。

そのなかから、バザーでもお馴染みの小春巻とチャータンホン（炒め春雨）を紹介しましょう。

## 小春巻（チャージョー）

### ●材料（40個分）

豚ひき肉	200	グラム
小えび	50	グラム
たまねぎ	4	分の1個
春雨	20	グラム
にんにく	1	かけ
バターピーナッツ	大さじ2	
春巻の皮（10枚入り）	1	袋
塩、砂糖、小麦粉	各少々	

### ●作り方

- ①エビは、殻と背わたをとって、包丁でたたか、すりばちでミンチにする。
- ②春雨はお湯でもどして、よく水を切ってからみじん切り。
- ③たまねぎ、にんにくはみじん切り。
- ④バターピーナッツはミキサーで細かくする。
- ⑤ひき肉と①②③④をよくまぜる。
- ⑥春巻の皮を正方形に4等分し、⑤を少しずつのせて巻き、水とき的小麦粉をのりにして止める。
- ⑦揚げ油で皮がきつね色になるまで揚げる。

## カンボジアの料理会は

原則として 毎月第3火曜日

10:30~13:00

於：CYR広尾事務所

1月は23日（火）第4火曜日

すっぱいとりのスープ  
（スガオ・ムアン）に  
ご飯と、牛肉サラダです。

### 〈たれ〉

#### ●材料

砂糖、塩、酢、トットライ  
にんにく1片、赤とうがらし

#### ●作り方

- ①水の中に砂糖、塩を入れ火にかけて、よくまぜる。
- ②酢、トットライ（魚醤油）、みじん切りのにんにく、好みでうす切りの赤とうがらしを加える。

※これは基本のタレなので、いろいろ使えます。甘さ、辛さは好みに合わせて調整してください。そうめんをつけて食べてもおいしいので料理教室のときは、このタレで、そうめん和小春巻を食べました。

## 炒め春雨 (チャータンホン)

### ●材料 (4人分)

春雨	400 グラム
豚肉	200 グラム
干えび	40 グラム
腐竹(ゆばのスティック)	10 グラム
キクラゲ	10 グラム
万能ネギ	3、4 本
にんにく	1かけ
塩、コショウ、トットライ、 醤油	適宜

### ●作り方

- ①干えび、キクラゲ、腐竹をお湯でもどす。
- ②キクラゲの石づき、えびの殻を取る。
- ③春雨をお湯でもどし、食べやすい大きさに切る。
- ④豚肉は細切り。
- ⑤中華なべにサラダ油を熱し、にんにく、豚肉を炒め、色が変わったらえびを入れ、塩、コショウ、トットライ、醤油で味をつける。



- ⑥春雨を加え、よく味をからませてからキクラゲ、腐竹をさらに加え、炒める。かたい時はお湯を入れて調節する。
- ⑦最後に短く切った万能ネギを上に乗らす。



## ☆出張料理教室もあります！

いつも広尾のCYR事務所で開いているカンボジアの料理教室ですが、11月19日(日)には東京・杉並区にある阿佐ヶ谷地域区民センターに出張しました。

これは、会員の小川由美さん(日野市在住)が友人の岩本雅歌さんとつくったグループ「コン・タマチャート」(タイ語で自然の人の意)の主催による料理会にCYRが協力したものです。

当日のメニューは、揚げビーフン(ミーバムボン)と、とりサラダ(ニョアム・ムアン)。20人以上の参加者のうち男性も5人。サラダのきゅうりの飾り切りやもやしひげとりに挑戦していました。

講師のソワンさんは、いつもより大勢の生徒たちに初めのう



ちは「恥ずかしい」と言っていました。すぐに堂々とした本来のペースに戻りました。広々とした料理室で、道具も揃っているのでやりやすかったようです。

カンボジア料理は初めての人もいましたが、「とてもおいしい」と好評でした。デザートはソワンさんがつくってき

たかぼちゃのケーキ(サンキャロポウ)。「おいしさの仕上げにデザートまでいただいて感激です」とは、ある参加者の弁。

次回の阿佐ヶ谷でのカンボジア料理会は、来年(1990年)1月の予定です。詳しくは、岩本さん(0423-44-3372)にお問い合わせください。

# まず知ろう アジアの子どもたちの生活



14 さる11月10日から12月3日まで、東京YMCA国際理解講座「アジアの子どもたちは今」が開かれました。「女性とレンズがとらえたアジア」と副題のついたこの講座は全部で5回。カメラマンの写真を「見て」、その国出身の母親から話を「聞く」という形式をとり、最終日はパネルディスカッションでしめくられました。

第1回の「カンボジアの子どもたち」は、元JVCのスタッフ麦倉玲子さんの写真と話。予定ではCCC（カンボジア・カルチャー・クラブ）の山田ボバナさんでしたが、不測の事態により急遽変更となりました。

伝統的な子育てが、ポルポトの時代（1975～79年）に途絶えてしまい、子育てに戸惑っている若い母親が多いこと。農村の

子どもたちは、水汲み、魚とり、田植え、水牛の世話など、いくつもの役割をもちながら、自然と調和のとれた生活をしています。しかし、一つの村に一つの学校を建てることはまだ難しい状況にあり、お坊さんが村人からお金を集めて学校建設をする例が多いとか。これはお寺が子どもの教育をしてきた伝統があるためといいます。

一方、都市には、「ピエネール」と呼ばれる、政府の行事などに参加するエリートの子どもたちと、グループをつくり鉄くず集めや、観光客相手に地図、絵ハガキなどを売って生活費を稼ぎ出している子どもたちが同居しているそうです。

第2回は、カメラマンの野中章弘氏の写真と、白石アンチャリさんの話による「タイの子ど

もたち」。毎日どうやってお金を稼ぐか考えているタイの子どもと、肥満のためにスポーツをやっている日本の子ども、大人の前で生意気なことを言えば、その場ですぐ怒るタイと、何をしてもほとんど怒られることのない日本など、日本の子どもとの比較やしつけのちがいが話題の中心でした。バンコクには、日本と同じように塾通いに追われる子どもたちもいるそうです。写真には、売春宿で働く少女、安い労働力として使われている子どもたちも登場し、子どもたちが置かれている状況の厳しさを考えさせられました。

第3回は「フィリピンの子どもたち」。共産勢力一掃の政策のため、村を追われ国内難民となった子どもたちの写真など、日本に届きにくい情報を写真で伝えたいという、写真家の長倉徳生氏と、フィリピン問題研究会のローズ川島さんの話。

1日に2回の食事すらできない、栄養失調のため抵抗力がなく病気にかかり死んでいく、劣悪な労働条件下で安い賃金で働いている、麻薬・性産業で働いている、学校に行きたくても行けない……そんな子どもたちもたくさんいるフィリピンです。

第4回は「バングラデシュの子どもたち」。バングラデシュ

## BOOK GUIDE



今年(1989年)は、国連で「子どもの権利宣言」が採択されてから30周年。この「宣言」に法的な拘束力をもたせた「子どもの権利条約」が11月20日に、国連総会で採択されました。この条約は、世界のすべての国に存在している非常に困難な条件のなかで生きている子どもが、特別な考慮を必要としていること、とくに発展途上国の子どもたちの生活条件を改善するためには国際的な協力が重要になってくることを強調しています。

なぜこのような「子どもの権利条約」が必要なかわかる本が、「チルドレンズ・ライツ—いま世界の子どもたちは」でしょう。

世界の子どもたちの現場で働いている人たちからの報告を中心に、子どもの権利条約の解説、条約草案の全文、世

界人権宣言、子どもの権利宣言、子どもを援助するNGO(民間団体)リストなどが盛りこまれています。

酷使される子どもたち、貧困の上に障害のハンデを負った子どもたち、戦乱のなかで生きる子どもたち、政治的暴力・殺害の犠牲になっている子どもたち、性的搾取・虐待を受ける子どもたち、路上で暮らす子どもたち……様々な国の子どもたちの、権利を奪われた、困難な状況が浮きぼりにされています。

この中には、CYRのいいぎり代表(本名・佐藤幸江)が国連職員として書いた「アフガニスタンの難民の子どもたち」の報告も載っています。

また、日本の部落やドヤ街の子どもたち、日本に住む外国人の子どもたちの問題もとりあげてあり、是非一読をおすすめしたい本です。

この「チルドレンズ・ライツ」は、CYRの事務所でも取り扱っています。

チルドレンズ・ライツ  
刊行委員会・編  
日本評論社刊 1800円

のよい点、美しいところ、素晴らしいところを見てほしいというカメラマンの吉村繁氏と、綾部ミノティーさんの話。

貧しさは誰のせいでもない、神様が与えたものと受入れ、たくましく生きていること。大家族の中で、子どもたちは親兄弟を大事にし、自分の役割を果たし、小さくても小さいなりに親を助けていることなどを、ミノティーさんが誇りをもって話していたのが印象的でした。

第5回は、パネルディスカッション「アジアの子どもたちは今」。ラオスに絵本を送る会のチャンタソン・インタヴォンさんから、小学校でせっかく勉強しても卒業すると文字に接する機会がほとんどなく、再び文盲に戻ってしまう現状から、いつも子どもの身近に本があればと願って会をつくったこと。ユネスコ・アジア文化センターの田島伸二氏からは、世界の学校に行けない1億人の子どもたちのために、何か国もの人たちが集まって本づくりをしていることなどの話がありました。

放送大学の深谷昌志氏は、アジアの子どもと、日本の子どもは別のもと考えがちだが、昭和10年代には、日本の子どもも同じような状況にいたと、最後をまとめました。

# ご寄付 いただいた方々

1989年7月～11月

(敬称略)

## 北海道

綿山ひとみ (札幌市)  
砂田 絹子 (〃)  
松浦 芳子 (岩見沢市)  
藤田 康子 (亀田郡)  
小山田 彰 (古宇都)

## 青森県

佐藤美千代 (青森市)  
弘前学院聖愛高校宗教部 (弘前市)

## 岩手県

浜田 正美 (宮古市)  
佐藤 重幸 (岩手郡)

## 宮城県

森合 松美 (仙台市)

## 福島県

高木芳久・二三四(いわき市)

## 茨城県

関口 博美 (牛久市)  
佐藤 生子 (北茨城市)  
毛利 領子 (取手市)

## 栃木県

佐野市立城東中学校(佐野市)

## 群馬県

東別所日地区 (太田市)

## 埼玉県

福元 千里 (春日部市)  
木村 穂子 (川口市)  
富田 清江 (川越市)  
斉藤よし子 (越谷市)  
名取智恵子 (〃)  
斉藤 伸哉 (草加市)  
八重ゆかり (所沢市)  
菅 孝 (飯能市)  
岡田 米子 (蕨市)  
お田はんの会 (北葛飾郡)

## 千葉県

三精美枝子 (千葉市)  
国府台聖愛乳児園職員一同 (市川市)  
土屋美知子 (柏市)  
米山緋紗子 (〃)  
藤原 登代 (鎌ヶ谷市)  
矢ヶ部留美子 (本史津市)  
成田ビューホテル (成田市)  
川口 昌宏 (船橋市)  
関根 錦 (〃)  
股部 三郎 (松戸市)  
濱谷さき子 (四街道市)

## 東京都

うめだ「子供の家」(足立区)  
香川 澄子 (〃)  
小坂 一代 (〃)  
井ノ部百合子 (荒川区)  
岡崎 正道 (〃)  
中村 克夫 (板橋区)  
平山 辰雄 (〃)  
鬼頭 瑠子 (大田区)  
小智喜美子 (〃)

小屋まり子 (大田区)  
鈴木 重子 (〃)  
中村 育民 (〃)  
西木 広志 (江東区)  
岡崎 光枝 (品川区)  
前田 清和 (〃)  
大滝 弘子 (渋谷区)  
尾平佳津江 (〃)  
小島 三雄 (〃)  
田尻 陽子 (〃)  
力石 順子 (〃)  
星田 トヨ (〃)  
真鍋 清加 (〃)  
毛利 恭子 (〃)  
綿沢 知子 (新宿区)  
風岡 梧桐 (〃)  
北村 節子 (〃)  
David Weinberg (〃)

瀧川れい子 (〃)  
近藤 典子 (杉並区)  
善福寺子供の家 (〃)  
高江州朝子 (〃)  
田村 和凡 (〃)  
原田由紀枝 (〃)  
吉田 ミナ (〃)  
立教女学院小学校・高校 (〃)  
立教女学院短期大学 (〃)  
渡辺 直子 (〃)  
福島 歌子 (墨田区)  
山崎 康二 (〃)  
池田透・知嘉子 (世田谷区)  
笠原 泰 (〃)  
小林智恵子 (〃)  
澤田 祐子 (〃)  
東海林 (〃)  
つくしの会 (〃)  
津田 綾子 (〃)  
中島 博 (〃)  
モンテッソーリ (〃)  
世田谷子供の家 (〃)  
秋山 尚伸 (中央区)  
浅井 陽子 (千代田区)  
大鷹 弘 (〃)  
明星学園幼稚園 (〃)  
クラス・ルーメル (〃)

大石 敦子 (豊島区)  
小島 礼子 (〃)  
鈴木 ヨシ (〃)  
飯沼ふみ子 (中野区)  
小倉 松枝 (〃)  
長谷川いづ子 (〃)  
松岡 享子 (〃)  
大鹿 恵子 (練馬区)  
中條 一夫 (文京区)  
中尾英津子 (〃)  
カトリック麻布教会(港区)  
伊吹 祐子 (〃)  
菊野 正隆 (〃)  
春原 芳子 (〃)  
聖心女子学院さつき会 (〃)  
宗教サークル (〃)  
聖心みこころ会社会事業部 (〃)  
丸茂 富子 (〃)

森島 裕子 (港区)  
小川 宏子 (目黒区)  
加藤 幸子 (〃)  
坂本 礼子 (〃)  
芝 節子 (〃)  
新倉 和子 (〃)  
木庭 菊枝 (秋川市)  
熊谷こち (青柳市)  
瀬口 郁子 (清瀬市)  
山田 俊子 (小金井市)  
中西 信子 (小平市)  
武藤 好子 (立川市)  
小林 直樹 (八王子市)  
飯尾香織・美穂 (町田市)  
伊藤 トシ (〃)  
近藤 新 (〃)  
渡辺 典子 (三鷹市)  
佐久間羊子 (武蔵野市)  
松原 幸子 (西多摩郡)  
芝野 雅一 (八丈町)

## 神奈川県

相原 京子 (横浜市)  
鎌山真由美 (〃)  
近藤 セキ (〃)  
佐野 亮行 (〃)  
志村 悦子 (〃)  
田島 敏子 (〃)  
田中 仁 (〃)  
萩原 久子 (〃)  
平山 知学 (〃)  
岩竹 芳子 (〃)  
山崎 尚美 (小田原市)  
藤井 節子 (鎌倉市)  
飯野米子・朋子 (〃)  
沼老沢順子 (川崎市)  
大鹿 理恵 (〃)  
大坪 道 (〃)  
カトリック篤召教会 (〃)  
高橋 良夫 (〃)  
松井丹・純 (〃)  
森戸 潔 (〃)  
大野 力 (相模原市)  
高橋万里子 (澁谷市)  
塚本 亜子 (〃)  
横畑 雅子 (〃)  
湘南みこころ会 (茅ヶ崎市)  
ともしび会 (〃)

中村 由子 (東野市)  
重村 三代 (藤沢市)  
丸山台小学校3年2組 (〃)

宇都宮退子・ゆり江(大和市)  
今井野梨子 (中 郡)  
鈴木いづき・麦穂 (〃)

## 山梨県

中村由美子 (都留市)  
大東善代子 (中巨摩郡)  
雨宮 利雄 (東八代郡)

## 長野県

丹福友の会 (長野市)

## 新潟県

阿部 清 (新潟市)

## 富山県

大沢 まり (魚津市)

## 石川県

岩本 玉陽 (松任市)

## 静岡県

南社宏・敬子 (静岡市)  
土山 武子 (伊東市)  
鈴木 真樹 (浜松市)

## 愛知県

井上道雄・貞子 (名古屋市)  
橋本 千穂 (春日井市)  
長谷川正一 (〃)  
関口ひろ子 (小牧市)  
伊藤 洋子 (海部郡)

## 三重県

廣方 重俊 (四日市市)

## 京都府

伊崎 佳明 (京都市)  
新道 雪子 (〃)  
山本麻起子 (〃)  
荒賀 房夫 (宮津市)  
難民援助官津カトリックの会 (〃)

## 大阪府

秋田 恭江 (大阪市)  
伊東 峰明 (〃)  
大内 節子 (〃)  
川畑美津子 (〃)  
舌野 佳子 (〃)  
今村 伸 (吹田市)  
徳田健太郎 (高槻市)  
大杉 利幸 (豊中市)  
桂義幸・聡美 (寝屋川市)  
永戸 美紀 (枚方市)

## 兵庫県

加藤喜代子 (神戸市)  
神戸平安教会婦人会 (〃)  
小副川美樹 (〃)  
平賀 文子 (〃)  
宮前 峰子 (〃)  
石渡 要敏 (芦屋市)  
小川 正子 (尼崎市)  
木ノ本みえ (〃)  
松嶋 吉則 (伊丹市)  
浅沼 健一 (宝塚市)  
小林聖心みこころ会 (〃)  
鎌山世都子 (西宮市)  
庄 雅子 (〃)  
橋本 啓子 (〃)  
小林 辻一 (多紀郡)

## 奈良県

今村 洋子 (奈良市)  
宝田 淑絵 (生駒郡)

## 和歌山県

松井 保子 (新宮市)  
白水 路子 (東牟婁郡)

## 岡山県

吉岡 洋子 (岡山市)

## 広島県

土井 竜子 (広島市)

## 山口県

藤井 操 (光 市)

## 香川県

田村 保 (高松市)

## 愛媛県

坂本 敬子 (松山市)

## 高知県

池沢 潤子 (高知市)

## 福岡県

安藤 玲子 (福岡市)  
大垣 洋子 (〃)



木上 綱枝 (福岡市)	栗野 昌 (世田谷区)	大方 せつ (生駒郡)	木下 信子 (船橋市)
蓮尾 エリ ( // )	小林智恵子 ( // )	宝田 淑絵 (生駒郡)	関根 錦 ( // )
古賀 徳子 (久留米市)	小林 敏子 ( // )	岡山県	吉田 文子 (八千代市)
桑浦小百合 (粕壁郡)	高橋あつ子 ( // )	難波 幸矢 (岡山市)	佐々木秀子 (印旛郡)
<b>佐賀県</b>	つくしの会 ( // )	広島県	<b>東京都</b>
藤松 恵 (唐津市)	クラウド・ルーメル (千代田区)	橋本 政子 (広島市)	市原 (足立区)
<b>熊本県</b>	桃バワーテック ( // )	山中 道子 (廿日市市)	小沢 則江 ( // )
青木 悟 (熊本市)	原 加賀子 (豊島区)	山口県	時枝 裕子 ( // )
大津山敏子 ( // )	湯茂 健 (練馬区)	高森 雄二 (下関市)	中村 実子 ( // )
上川 倫子 ( // )	松宮 香洋 (文京区)	福岡県	本房 優子 ( // )
<b>大分県</b>	櫻並 瑛子 (港区)	吉川八重子 (福岡市)	雨宮 はま (菊川市)
松山まり子 (大分市)	太田 和 ( // )	桑浦小百合 (粕壁郡)	上野 弘美 ( // )
大分県立臼杵商業高等学校 (臼杵市)	川村 栄子 ( // )	<b>熊本県</b>	飯塚 孝子 (板橋区)
吉川 良子 (佐伯市)	福住 栄子 ( // )	加瀬 茂子 (熊本市)	片山 和恵 ( // )
<b>宮崎県</b>	柳沼 恵子 ( // )	世良喜久子 ( // )	夢原 初實 ( // )
佐田 安明 (日向市)	奥野 幸子 (目黒区)	<b>海外</b>	萩原 珠代 ( // )
<b>沖縄県</b>	神保真理子 ( // )	木下 由美	石川東世子 (江戸川区)
渡嘉敷 環 (宜野湾市)	田中 朗子 ( // )		永良 千秋 ( // )
<b>新聞募金</b>	山崎 朋子 ( // )		荒木 和子 (大田区)
	堀内 ツル (小平市)		伊藤みちい ( // )
	小川 由美 (日野市)		岡 富美子 ( // )
<b>北海道</b>	<b>神奈川県</b>		坂本 明 ( // )
松浦 芳子 (岩見沢市)	志村 悦子 (横浜市)		三條紀久子 ( // )
<b>宮城県</b>	田島 敏子 ( // )		高石 勝子 ( // )
森合 松美 (仙台市)	原 和子 ( // )		福川 嘉子 ( // )
<b>茨城県</b>	相川 明子 (鎌倉市)		藤倉 芳 ( // )
佐藤 生子 (北茨城市)	伊藤 恵子 (川崎市)		中島 寿人 ( // )
<b>埼玉県</b>	大倉 理恵 ( // )	<b>岩手県</b>	永岡 秀代 ( // )
武藤志津子 (上尾市)	小石 英夫 ( // )	松本千寿子 (北上市)	福田 敬 ( // )
一志 悦子 (岩槻市)	福田 千夜 ( // )	<b>宮城県</b>	向井 幸江 ( // )
岡田 和子 (川越市)	柴田 悦子 (大和市)	ミクロン機械株式会社 (仙台市)	山田 静江 ( // )
森生 郁代 (所沢市)	井出 貴江 (横須賀市)	<b>茨城県</b>	横溝 昭夫 ( // )
山田 朝子 ( // )	<b>長野県</b>	尾吹 富子 (石岡市)	青嶋 れい (葛飾区)
<b>千葉県</b>	青木由美子 (長野市)	<b>栃木県</b>	石川 雅子 ( // )
藤田 桂子 (千葉市)	内田 陽子 ( // )	大久保よしえ (宇都宮市)	大橋きよ子 ( // )
土谷美知子 (柏市)	久世まゆみ ( // )	<b>埼玉県</b>	中村真理子・育子 ( // )
江戸川台子供の家 (流山市)	神津佳子 ( // )	打越華子・さく良 (浦和市)	西村佳津子 ( // )
菱木 邦子 (山武郡)	小林九い子 ( // )	小林 裕子 (朝霞市)	藤田 久子 ( // )
<b>東京都</b>	<b>愛知県</b>	一志 悦子 (岩槻市)	正木 ( // )
山根小枝子 (足立区)	長谷川正一 (春日井市)	緑川 孝子 (梅川市)	岩田 牧子 (北区)
塩見 和子 (板橋区)	豊田 寿子 (豊田市)	中田 尚子 (川口市)	菊地 愛子 ( // )
根本 昌子 ( // )	伊良湖ビューホテル(愛知県)	岡田和子・知子 (川越市)	北見 アイ ( // )
平山 辰雄 ( // )	<b>三重県</b>	武井 里子 (越谷市)	国保 征子 ( // )
小島 正子 (江戸川区)	奥山 卓司 (久居市)	三田 春江 ( // )	田端地区有志 ( // )
小壁 まり子 (大田区)	廣方 重敏 (四日市市)	阿部 幸子 (狭山市)	水野 哲子 ( // )
萩原美恵子 ( // )	<b>滋賀県</b>	横田 久子 ( // )	大澤 昭子 (江東区)
山口 和子 ( // )	西谷 靖男 (大津市)	富樫 元子 (草加市)	菊池美保子 ( // )
吉田 明美 ( // )	<b>京都府</b>	永野 洋子 (所沢市)	細田千賀子 ( // )
氏家あさえ (畠川区)	田中 唯男 (京都市)	立川 恭子 ( // )	狩野 昇作 (品川区)
岡崎 光枝 ( // )	<b>大阪府</b>	本間 雅彦 ( // )	狩野 知子 ( // )
佐々木セツ ( // )	齊藤 裕子 (大阪市)	能登 春美 (八潮市)	攻玉社学園まこと会 ( // )
宗 美樹子 ( // )	株式会社エミック ( // )	岡田 米子 (蕨市)	関口加代子 ( // )
高橋 静子 ( // )	西島己美子 (大東市)	平野 春 ( // )	田中美根子 ( // )
多野 トシ ( // )	越崎富喜子 (豊中市)	中島 孝枝 (北葛飾郡)	多野 トシ ( // )
前田 清和 ( // )	高島 眞子 ( // )	金子 節子 (南埼玉郡)	中村医院 ( // )
田代 泰子 (渋谷区)	宮崎起世子 ( // )	<b>千葉県</b>	谷沢 一江 ( // )
萩原 宏平 ( // )	水谷 晶子 (環状川市)	植田智加子 (千葉市)	れんげ会 ( // )
松岡 玲子 ( // )	荻野 芳子 (豊能郡)	鬼崎 貞子 ( // )	Anne-Marie de Portu (渋谷区)
斉藤 隆子 (新宿区)	<b>兵庫県</b>	川西 桓子 ( // )	伊東止女子 ( // )
近藤 典子 (杉並区)	加藤喜代子 (神戸市)	倉重 良子 ( // )	岩田由美子 ( // )
庄司百合似 ( // )	ヘイルウッド知子 (芦屋市)	坂内 和子 ( // )	植田 瑞子 ( // )
松本 尚子 ( // )	水ノ本みえ (尼崎市)	成瀬 昌美 ( // )	尾平佳津江 ( // )
安藤知代子 (世田谷区)	木田ムツミ (宝塚市)	上原ひろみ (市川市)	河原 瑞江 ( // )
石原多希子 ( // )	宮沢 朝子 (西宮市)	坂本 修 (浦安市)	小島 三雄 ( // )
岡本巳伊子 ( // )	<b>奈良県</b>	高橋 鏡子 (柏市)	聖心インターナショナル
小沢 篤子 ( // )	草 陽一 (奈良市)	田村 茂代 ( // )	スクール父兄 ( // )
		河村 好美 (船橋市)	

## 物品を 寄せられた方々

1989年5月～11月

(敬称略)

### 岩手県

松本千寿子 (北上市)

### 宮城県

ミクロン機械株式会社 (仙台市)

### 茨城県

尾吹 富子 (石岡市)

### 栃木県

大久保よしえ (宇都宮市)

### 埼玉県

打越華子・さく良 (浦和市)

小林 裕子 (朝霞市)

一志 悦子 (岩槻市)

緑川 孝子 (梅川市)

中田 尚子 (川口市)

岡田和子・知子 (川越市)

武井 里子 (越谷市)

三田 春江 ( // )

阿部 幸子 (狭山市)

横田 久子 ( // )

富樫 元子 (草加市)

永野 洋子 (所沢市)

立川 恭子 ( // )

本間 雅彦 ( // )

能登 春美 (八潮市)

岡田 米子 (蕨市)

平野 春 ( // )

中島 孝枝 (北葛飾郡)

金子 節子 (南埼玉郡)

### 千葉県

植田智加子 (千葉市)

鬼崎 貞子 ( // )

川西 桓子 ( // )

倉重 良子 ( // )

坂内 和子 ( // )

成瀬 昌美 ( // )

上原ひろみ (市川市)

坂本 修 (浦安市)

高橋 鏡子 (柏市)

田村 茂代 ( // )

河村 好美 (船橋市)

聖心女子大学寮生 (渋谷区)	モンテッソーリ	校光会付属幼児研究所田の会 (目黒区)	田中 政樹 (大和市)
聖心会第一修道院 (〃)	世田谷子供の家(世田谷区)	芝 節子 (〃)	一本 成子 (横須賀市)
聖心会第二修道院 (〃)	柳沢由美恵 (〃)	島田ミエ子 (〃)	合井野梨子 (中 郡)
聖心会第三修道院 (〃)	米田朝子・小嶋 (〃)	田中 朗子 (〃)	山梨県
聖心会本部修道院 (〃)	渡辺 忠子 (〃)	野沢 節子 (〃)	谷 百合子 (北巨摩郡)
田代 泰子 (〃)	渡辺 昌子 (〃)	早出 高子 (〃)	上條 清夫 (北都留郡)
力石 順子 (〃)	芝崎 英子 (台東区)	廣橋 悠子 (〃)	長野県
遠入 明子 (〃)	竹内 友規 (〃)	村松 道 (〃)	遠藤 道子 (北安曇郡)
戸田 道子 (〃)	菊池 明美 (中央区)	柳田みどり (〃)	新潟県
榎本浩司・真知子 (〃)	鈴木 良子 (〃)	柳田 涼子 (〃)	中林 虎三 (新潟市)
中林 昌子 (〃)	石原小枝子 (千代田区)	山澤百合子 (〃)	富山県
林 香代子 (〃)	観/パワーテック (〃)	山田 暢子 (〃)	貴堂 紀子 (富山市)
古川 弘美 (〃)	村主 朝子 (〃)	吉房 祥 (〃)	石川県
松岡和子・玲子 (〃)	オンダクツミセ (豊島区)	佐藤 潮 (青梅市)	西出 栄子 (加賀市)
向井 民 (〃)	菊池 圭子 (〃)	佐藤 信郎 (〃)	高橋美津枝 (小松市)
山田 妙子 (〃)	小島 礼子 (〃)	高田みさえ (〃)	静岡県
山田 礼子 (〃)	鈴木 ヨシ (〃)	木本 由香 (小金井市)	池田 美波 (浜松市)
石橋 敏子 (新宿区)	株式会社プランニング (〃)	辰濃 和男 (〃)	平田屋 (三島市)
市川 敏 (〃)	原 葉子 (〃)	永戸 藤子 (〃)	愛知県
草上会 (〃)	宮河繁治・和子 (〃)	有江 忠 (小平市)	伊藤はつ子 (名古屋市)
斎藤 隆子 (〃)	瀧原 (〃)	堀内 ツル (〃)	柴山 道子 (〃)
須崎三津夫 (〃)	若松 博子 (〃)	堀内 ツル (〃)	大島 朋子 (大府市)
須崎 用次 (〃)	新井 謙昭 (中野区)	松本 正子 (立川市)	滋賀県
中島 朋子 (〃)	石田 記子 (〃)	生熊 えり (八王子市)	寸田 一夫 (大津市)
原口 源信 (〃)	伊藤 美子 (〃)	加藤 定子 (〃)	川橋マノ子 (近江八幡市)
日比谷寿美子 (〃)	佐藤 京子 (〃)	小川 由美 (日野市)	京都府
水上靴店 (〃)	鈴木真理子 (〃)	岡屋 志利 (府中市)	伊崎 佳明 (京都市)
ロンドン靴店 (〃)	中村 義昭 (〃)	大賀ひじり (保谷市)	コレクションショップ
川崎恵美子 (杉並区)	西脇エミ子 (〃)	飯田 文子 (町田市)	やまもと (〃)
近藤 典子 (〃)	長谷川いづ子 (〃)	大澤 燕子 (〃)	大阪府
杉村 心さ (〃)	松岡 享子 (〃)	浅見 智子 (三鷹市)	李 姫子 (大阪市)
鈴木裕紀子 (〃)	矢代 明子 (〃)	西野喜久子・百合 (〃)	高井 智子 (〃)
高橋みどり (〃)	小河内則子 (練馬区)	岩田武彦・澄江 (武蔵野市)	藤原 節子 (吹田市)
田中 なつ (〃)	海江田轟代 (〃)	芝野 雅一 (八丈町)	円 洋子 (〃)
田村 和凡 (〃)	海江田知恵子 (〃)	神奈川県	兵庫県
戸田 忍 (〃)	後藤今日子 (〃)	寺沢 照明 (横浜市)	五十嵐一夫 (神戸市)
鳥栖 良子 (〃)	田中悠紀子 (〃)	合本 節江 (〃)	古賀 朋子 (〃)
藤野美知子 (〃)	薄田 貞子 (文京区)	片山美恵子 (〃)	岡本 豊子 (尼崎市)
藤本紀世子 (〃)	小野よう子 (〃)	黄 崇子 (〃)	庄 雅子 (西宮市)
綿貫 充子 (〃)	竹内 久枝 (〃)	小島 美子 (〃)	岡山県
遠藤ふみ子 (墨田区)	藤本久仁子 (〃)	篠田 昌子 (〃)	有元 清枝 (岡山市)
梶 正夫 (〃)	皆川喜代子 (〃)	清水 径子 (〃)	龍地 真澄 (〃)
浅賀 要子 (世田谷区)	アジア福祉教育財団(港 区)	田中 仁 (〃)	広島県
阿部 清智 (〃)	池田 勝子 (〃)	津野 喜一 (〃)	田川喜代子 (東広島市)
大隅 道子 (〃)	石毛 巫子 (〃)	頼田 幸子 (〃)	福岡県
小沢 篤子 (〃)	伊吹 拓子 (〃)	内藤美代子 (〃)	大垣 洋子 (福岡市)
金沢 真理 (〃)	栢木 桂子 (〃)	根岸 元子 (〃)	古賀 徳子 (久留米市)
栗野美代子 (〃)	川崎留理子 (〃)	久持 典子 (〃)	大分県
小林 明子 (〃)	久能木 光 (〃)	松井 健祐 (〃)	甲斐 敏子 (大分市)
小林 敏子 (〃)	崎川由美子 (〃)	吉井真佐子 (〃)	住所不明
酒井志津子 (〃)	佐藤 水恵 (〃)	吉田 路子 (〃)	江口 豊子
東田林 (〃)	聖心女子専門学校 (〃)	菊岡 貞子 (鎌倉市)	低藤 広子
白石美千子 (〃)	田辺 ゆり (〃)	小林しめ子 (〃)	
新納 淳弘 (〃)	冢田 典子 (〃)	三神 康子 (〃)	
鈴木三輪子 (〃)	福島亜矢子 (〃)	飛井定雄・治代 (川崎市)	
高橋己美子 (〃)	真鍋みどり (〃)	井口 由子 (〃)	
高橋 光枝 (〃)	三村 典子 (〃)	灰原三佐子 (〃)	
高見 公雄 (〃)	筋内祥岡・節子 (〃)	桜井 貞子 (〃)	
武本 令子 (〃)	和田 令子 (〃)	富岡 孝子 (〃)	
千屋 道 (〃)	飯田 光子 (目黒区)	中野 康子 (〃)	
津田 綾子 (〃)	鎌田靖子他一同 (〃)	越島 暎子 (逗子市)	
寺岡 玲子 (〃)	川原 道子 (〃)	高澤 治江 (〃)	
平木大三郎 (〃)	河村なざさ (〃)	山路 陽子 (〃)	
三本早智子 (〃)	気賀 洋子 (〃)	東川 悦子 (平塚市)	
宗塚 幸子 (〃)	小林 道子 (〃)	藤岡 千力 (藤沢市)	
	近藤 圭子 (〃)	れんげ会藤沢 (〃)	
		柴田 悦子 (大和市)	

ご協力ありがとうございました。

# 情報スクラップ

## ——催物・講座・スタディーツアー——

### 関東

#### ★新年ベトナム祭

ベトナム料理、伝統音楽と踊り、子どものゲームなどで新年を祝う。

日時：90年1月1日（日）

午後1時 から

於：イグナチオ教会（JR中央線四谷駅から徒歩1分）

主催：日本在住ベトナム人協会 ☎03-769-1378

### 関西

#### ★関西NGO大学

「援助、国際協力を考える」  
— ODA の現状とNGO の課題

講師：村井吉敬

日時：90年1月20～21日

於：神戸学生青年センター  
（神戸市灘区）

費用：有料

主催：関西国際協力協議会  
☎06-344-1717

#### ★ザイール理解講座

講師：米山俊直、ムアンザ・コンゴロ他。

日時：90年1月6日（土）～

3月21日（水）の全10

回 14：00～16：00

於：名古屋国際センター

費用：有料

主催：同上 ☎052-581-5678

スタディーツアー

#### ★ネパール生活体験ツアー

期間：90年3月5日～15日

費用：約26万円

主催：アジア保健研修財団

☎05617-3-1950

## 《事務局からのお知らせ》

#### ●事務局責任者がかわりました

9月末日に、約5年間事務局の責任者として勤め、渉外を担当しておりました笹尾正乃が退職いたしました。

10月からは、峯村里香が責任者となり、渉外を担当いたしますので、どうぞよろしく願います。

#### ●「こんにちはCYRです」は

申し込み制になりました

すでに何回かお知らせしていますが、日本に住むインドシナの人たちと日本人をむすぶ新聞「こんにちはCYRです」は、

第5号から申込みをした方のみ配布します。ご希望の方は、CYR事務局まで御一報ください。

#### ●関西地方に2か所の支部があります

関西の支部は次の2か所です。お近くの会員の方、交流会、パネル展などの催物をなさりたい時など、ぜひ連絡してみてください。

大阪支部＝〒573 枚方市枚方

元町4-31 メゾン花 303

0720-43-3380 中野能行

岡山支部＝〒701-11 岡山市

津高 207-10 成澤貴子

## 事務所をさがしています！

現在の広尾事務所は宗教法人聖心会のご好意により、10年近くも無償で貸していただいたものです。契約は来年3月までです。それまでに事務所を移転いたします。

どなたか安く、交通の便が良い、事務所に適当な場所をご存知ではないでしょうか？ 広さは、今の事務所程度（40平米）か、もう少し広いところを希望しています。近くにバザーができるスペースがあればベストなのですが……。

お心当たりのある方、どうぞ事務局までご連絡ください！

# CYRきのう・今日

## タイ・カオイダン

9月3～13日

シンガポールで行なわれた、BVL（オランダの助成団体）アジア地域研修センター主催による「プロジェクトの計画づくりと進め方」の研究会にバンコク事務所のゴイが参加。

9月28・29日

カンボジアの仏教のお祭り。人々を呼び集める人形も登場してにぎやか。



10月3～6日

マレーシアで行なわれた、マレーシアの厚生省主催による「多民族国家の中での各文化を大切にしたい子育てと効果的な親の関わり方」の研修に在タイスタッフの関口晴美参加。

10月

配給される食糧のうち魚、肉類の量が減り、逆に植物油、野菜の量が増える。これは、UNHCRの89年度予算が不足したため。全体の栄養カロリーは今まで同様。

11月2～10日

ネパールで行なわれたユネス

コ主催の「子育てに対する親の意識をどう高めるか」の研修に関口晴美参加。

11月16～24日

国境の避難地サイト2でポリオが流行したため、カオイダンでも15歳以下の子どもにワクチンを飲ませる。甘いので子どもたちは、ハチミツだと思って喜んで飲んだ。

## 国内

9月2日・9日・10月21日

会員有志によるアドバイスグループ打合せ。最終回バザーの進め方などを検討。

9月20日

東京都ボランティア活動推進協議会の研修で、「日本の中の国際問題とボランティア」を事務局笹尾正乃が講演。

9月29日

兵庫県神戸市の精神科医、児童相談所相談員、ケースワーカー、保健婦などがつくっている「中国帰国者の健康と生活を考える会」の月例会に参加。活動紹介と、定住者からの相談と対応について報告。

10月13日

熊本市で会員交流会、活動報告会を開く。



10月13～23日

大分市の松山まり子さんがつづいている「グループ宇宙船」主催によるパネル展「幼い難民に未来を」。14日には「幼い難民のためのお琴の夕べ」も開催、事務局峯村里香が活動報告を行なう。

10月14日

第20回バザー。広尾での最後のバザーは晴天に恵まれ、収益金は1,637,359円に。



10月25・26日

立教女学院小学校・高校・短期大学にて、一時帰国中の在タイスタッフ福原香がCYRの活動を報告。

11月3・4日

兵庫県の淡路島で開かれた、「市民とアジアをむすぶ国際フォーラム」に協賛団体として参加。大阪支部の中野能行さんと岡山支部の成澤貴子さんが難民問題の分科会を自主企画する。

12月5日

12月から事務局職員となった高橋あつ子研修のため渡タイ。